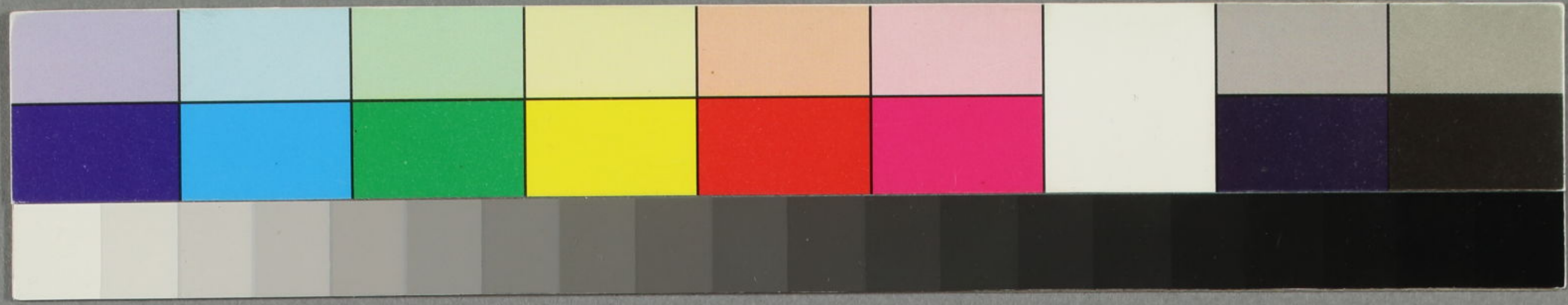


役者評判記

手13
3849
67





天 13
3849
67

特

天 13
3849
67

後者正札附

後者正札附
下

後者正札附





後者正札附

藝水堂

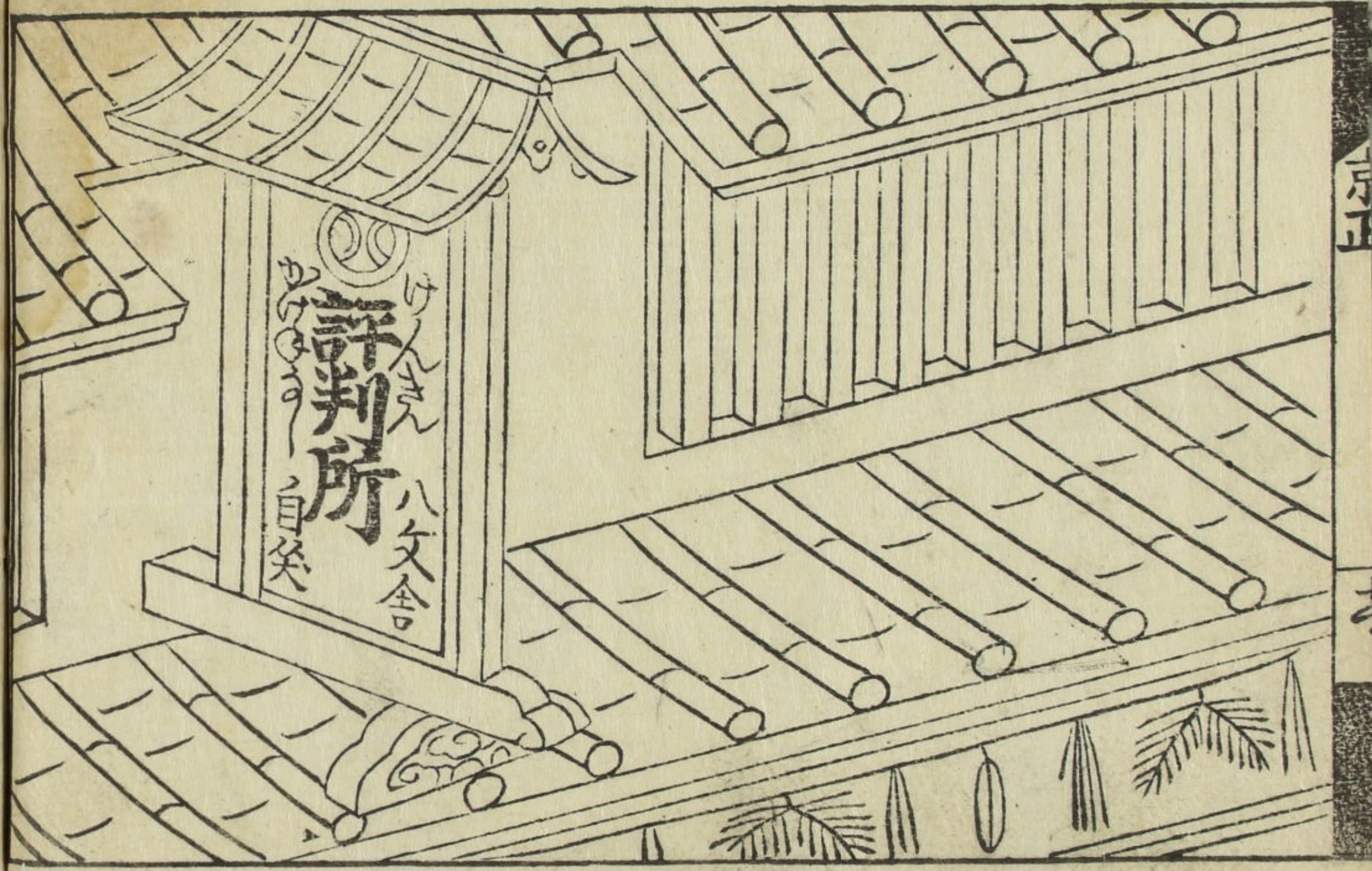
系之卷



正牌口上云

蓋清扶媛能莊莊以庄恐脫
至極之善好以路與年之藝水堂
其入清境山如清山以之原之莊
如下大驗高往經之往合其有
從者委之往內之善也地合新經
沃山之往祖念入中以五正月二更
委初往乃之利智那委經利
取清史之往海之往之至

板元 八文舍



系信條式之器物後者目錄

小淵寺 飛谷長之次 庄幸 尾川友之希
名代 冰乃之次 庄幸 在松屋梅盛
 ○ 凡之須存於よ寄る

至書

坂東考系

南側

上上吉

立役 三希

小側

上上吉

尾川八彦

南側

上上吉

濱尾若十希

南側

上上吉

嵐松三希

小側

上上吉

尾上新七

小側

仕舞のしほり

交紙

上上

中山会柳

小例

上上

とうぐく本巻花ごんきき

巻花

上上

やうし福はうんをさる

小例

上上吉

精の玉ぬのへいよのあ

香席

上上

神のちうりめのある

後編

上上

▲老幼く部

今村七三席

上上

旋の波はうんをさる

全席

上上

女形であつが今でハ

うぐえ

上上吉

泳をうけらてあがれ

橋本

上上吉

▲美悪く部

関三十席

上上吉

文でも巻をこまふ

後編

上上吉

実忍くま殺りの

二席

上上吉

山嵐はあがれ

後編

上上吉

▲実忍くま殺りの

中山

上上吉

かたごをさる

紫雲

上上

いづれをさる

小例

上上

あひても

嵐八

上上

相違谷極希

色巻

上上

実の社

中村吉席

辰切又敷元のり 毛

上上 坂東園常 小例

坂東園常 小例

ふ生 中村元常 小例

名あをう心ねえ常 小例

上 嵐瀧常 小例

上 中山徳常 小例

上 沢村常 小例

上 花相常 小例

上 嵐常 小例

上 中村常 小例

上 中山常 小例

上 嵐常 小例

上 坂東常 小例

上 市川常 小例

上 花相常 小例

上 中村常 小例

上 嵐常 小例

上 中村常 小例

上 嵐常 小例

上 三村常 小例

名あをう心ねえ常 小例

▲ 改元常 小例

上 大和常 小例

おのい常 小例

上 浅尾常 小例

名あをう心ねえ常 小例

▲ 若女常 小例

上 坂川常 小例

女の勝常 小例

上 中山常 小例

子以の任常 小例

上 何常 小例

らん常 小例

上 中村常 小例

は常 小例

上 嵐村常 小例

嵐村常 小例

上 嵐村常 小例

大和國并平下紋

上中下
布袋長谷社



一陽扇勝關 五原城



上中下

初道て後世を其のまゝに傳へたるは
秘法なりとて守るべきものなりとて
秘法なりとて守るべきものなりとて
秘法なりとて守るべきものなりとて
秘法なりとて守るべきものなりとて
秘法なりとて守るべきものなりとて

上ノ 山ノ 方ノ 次ノ 弟ノ 百例

秘法なりとて守るべきものなりとて
秘法なりとて守るべきものなりとて
秘法なりとて守るべきものなりとて
秘法なりとて守るべきものなりとて
秘法なりとて守るべきものなりとて
秘法なりとて守るべきものなりとて

上ノ 中ノ 下ノ 弟ノ 百例

秘法なりとて守るべきものなりとて
秘法なりとて守るべきものなりとて
秘法なりとて守るべきものなりとて
秘法なりとて守るべきものなりとて
秘法なりとて守るべきものなりとて
秘法なりとて守るべきものなりとて

上ノ 上ノ 高ノ 中ノ 村ノ 歌ノ 弟ノ 百例

秘法なりとて守るべきものなりとて
秘法なりとて守るべきものなりとて
秘法なりとて守るべきものなりとて
秘法なりとて守るべきものなりとて
秘法なりとて守るべきものなりとて

高し上りまほひの地へしきりた上下
 なる流のあはれなるの地へしきりた
 中へしきりたあはれなるの地へしきりた
 は流のあはれなるの地へしきりた
 地へしきりたあはれなるの地へしきりた
 立役抄本

上上吉 **●** 月三十席 南側

考長抄本 **○** 月三十席 南側
 の巨勢の地へしきりたあはれなるの地へしきりた
 ひのあはれなるの地へしきりたあはれなるの地へしきりた
 方へしきりたあはれなるの地へしきりたあはれなるの地へしきりた
 有と流のあはれなるの地へしきりたあはれなるの地へしきりた
抹 長抄本 **○** 月三十席 南側
指 長抄本 **○** 月三十席 南側
渠 長抄本 **○** 月三十席 南側
非 長抄本 **○** 月三十席 南側

轉 **○** 月三十席 南側
 切 **○** 月三十席 南側
 中 **○** 月三十席 南側
 七 **○** 月三十席 南側
 下 **○** 月三十席 南側

▲ 実地之部

上上吉 **⊕** 大谷本末門 南側

考長抄本 **○** 月三十席 南側
考 長抄本 **○** 月三十席 南側
考 長抄本 **○** 月三十席 南側
考 長抄本 **○** 月三十席 南側
考 長抄本 **○** 月三十席 南側
考 長抄本 **○** 月三十席 南側
考 長抄本 **○** 月三十席 南側
考 長抄本 **○** 月三十席 南側
考 長抄本 **○** 月三十席 南側

子孫の豊稔を祈る事
と云ふ事なり

▲ 養女院の部

上上吉  養川女者 出列

養川女者 養川女者 出列

養川女者 養川女者 出列

養川女者 養川女者 出列

養川女者 養川女者 出列

養川女者 養川女者 出列

養川女者 養川女者 出列

養川女者 養川女者 出列

養川女者 養川女者 出列

養川女者 養川女者 出列

養川女者 養川女者 出列

養川女者 養川女者 出列

養川女者 養川女者 出列

養川女者 養川女者 出列

養川女者 養川女者 出列

養川女者 養川女者 出列

養川女者 養川女者 出列

養川女者 養川女者 出列

養川女者 養川女者 出列

養川女者 養川女者 出列

養川女者 養川女者 出列

養川女者 養川女者 出列

養川女者 養川女者 出列

養川女者 養川女者 出列

養川女者 養川女者 出列

とておのれを養ひ給ふ事なれば夜も寝られず
とておのれを養ひ給ふ事なれば夜も寝られず
おのれを養ひ給ふ事なれば夜も寝られず

上上 貞 岡村家 小例

おのれを養ひ給ふ事なれば夜も寝られず
おのれを養ひ給ふ事なれば夜も寝られず
おのれを養ひ給ふ事なれば夜も寝られず

上上 林内家 小例

おのれを養ひ給ふ事なれば夜も寝られず
おのれを養ひ給ふ事なれば夜も寝られず
おのれを養ひ給ふ事なれば夜も寝られず

上上 河村家 小例

おのれを養ひ給ふ事なれば夜も寝られず
おのれを養ひ給ふ事なれば夜も寝られず
おのれを養ひ給ふ事なれば夜も寝られず

上上 後川家 小例

おのれを養ひ給ふ事なれば夜も寝られず
おのれを養ひ給ふ事なれば夜も寝られず
おのれを養ひ給ふ事なれば夜も寝られず

上上 三井家 小例

おのれを養ひ給ふ事なれば夜も寝られず
おのれを養ひ給ふ事なれば夜も寝られず
おのれを養ひ給ふ事なれば夜も寝られず

立役	中村市茂	美嘉	若尾本福徳
口	中山高春	口	吾妻若吉松
口	松崎秀之助	口	嵐園雲
口	嵐来第	口	中村若松
口	坂田系虎	口	中山若雲
立役	中崎三南亮	口	泉川清次郎
口	若村楠次郎	美嘉	若尾若吉松
口	若川平兵衛	口	千秋万歳乐
立役	大谷友次郎	口	
立役	中村歌助	口	

文化貳年 作者 八文舎 自笑

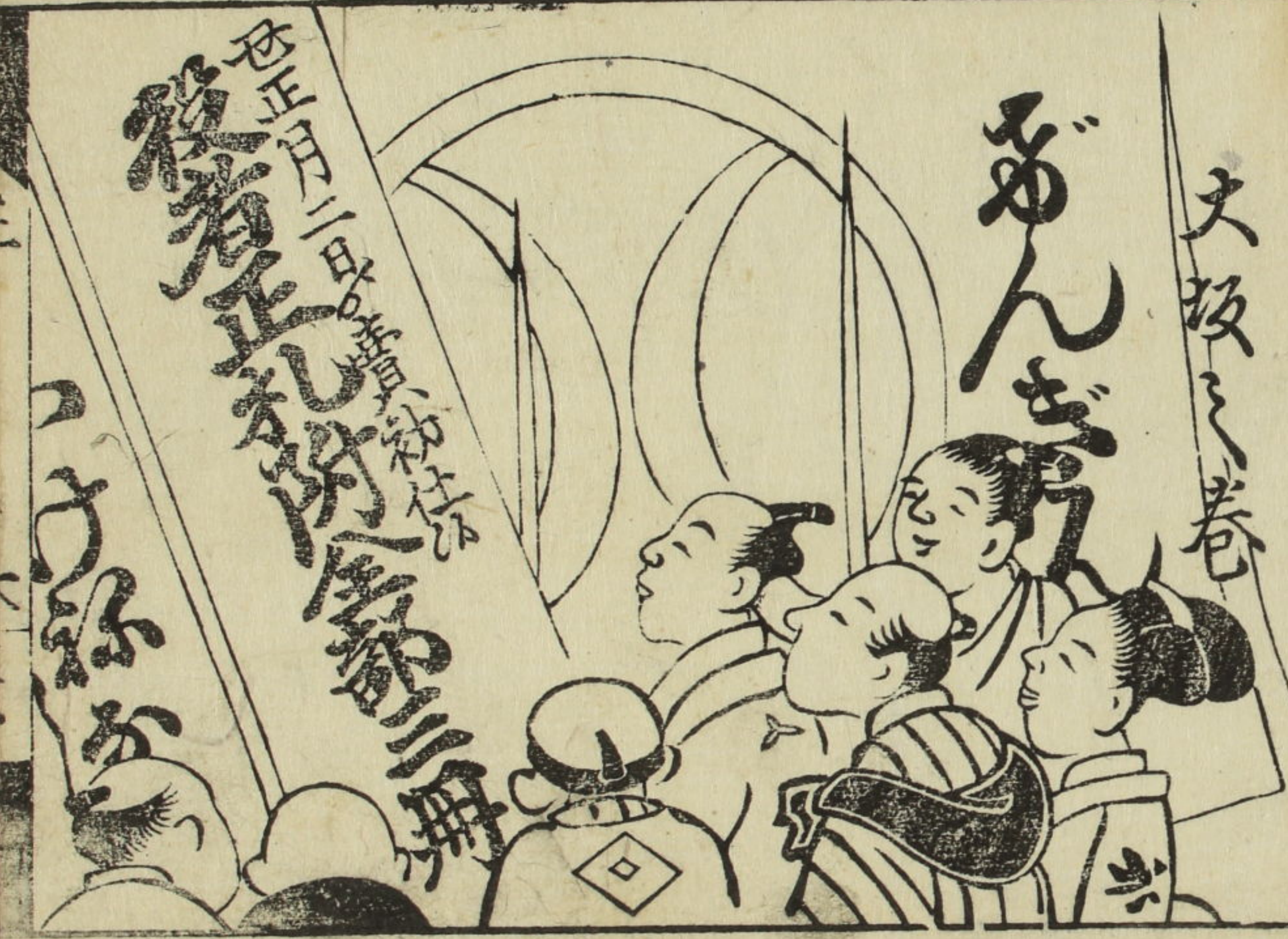
西五月廿日

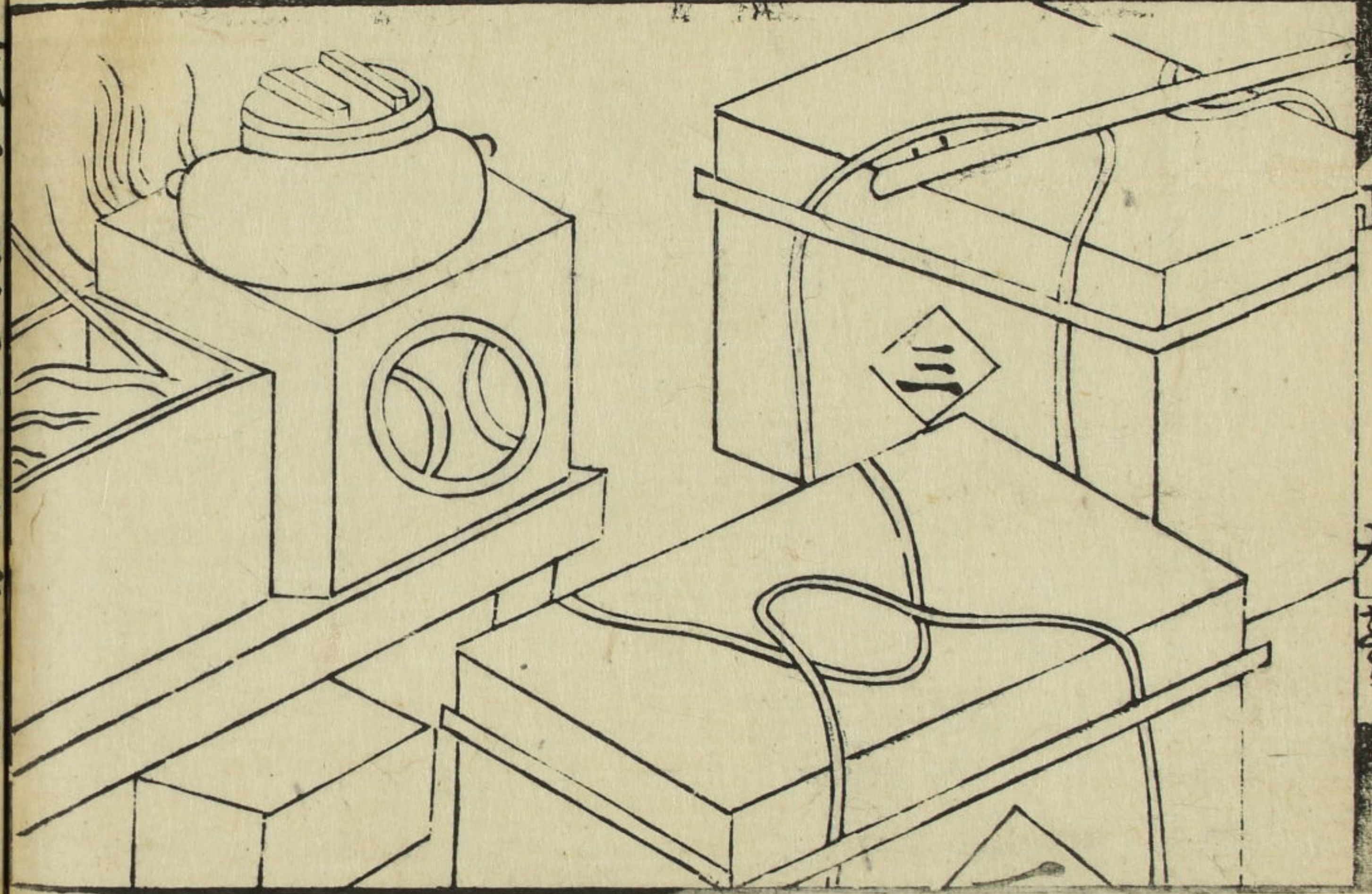
つるや若吉松
八文宗元八文若吉

役者正礼陳 嵐宗元

大坂之巻

あんぎやう





大坂乃松屋金兵衛被服者目録

名代綿屋の糸 糸茶芳沢園糸

● 足立紡布たて糸

▲ 立役糸

大書

片園糸

上書

嵐三糸

上書

市川市産

上書

市川市産

上書

市川市産

上書

市川市産

上書

市川市産

上書

市川市産

上書

市川市産

上書

市川市産

上書

市川市産

上書

市川市産

上書

市川市産

上書

市川市産

上書

市川市産

上書

市川市産

上書

市川市産

上書

市川市産

上書

市川市産

上書

市川市産

上上

中巻りのいぶきやのり

江戸板屋

しり波の房の懸あひ七糸

上上書

▲実効糸部

浅尾工糸

仕付いこまうりりのもい 縞紗

上上書

▲実効糸部

浅尾工糸

いこまうりりのもい 縞紗

上上書

市川女糸

お江戸よりいぶき糸 紗

上上

大谷門糸

おく身よりいぶき糸の 珠糸

上上

片岡園糸

上上

嵐万糸

上上

中村糸

上上

中村糸

上上

片岡園糸

上上

中村糸

上上

片岡園糸

上上

中村糸

上上

中村糸

上上

中村糸

上上

中村糸

上上

中村糸

上上

中村糸

上上

中村糸

上上

中村糸

上上

中村糸

上上

中村糸

上上

中村糸

上上

中村糸

上上

中村糸

上上

中村糸

上上

中村糸

上上

中村糸

上上

中村糸

上上

中村糸

上上

中村糸

上上

中村糸

上上

中村糸

一口上 中川福翁

▲ 牧言化者之部

宗河世篤助
並木忠長
嵐山曉
並木新彦
並木守彦
辰田万作

極上吉 附録 沃村國太郎

○ 一寸とあるは世の中は
一門別派の山村を交りて去るは徳江西方
の翁卷(素心)と及別法名(法記)
中してごごり中なり

文記元年甲子六月廿日
誓言異言俊教堂 俗名山村友若馬
寺の中古町の土地を極上の子を院

● 願取日

一寸とあるは一寸は大阪善徳寺中寺に
子波を振る身は三沙御狩はは高二月初
又八重合境中身は高敷を無想の所取
兼又一寸の三井中身は寺記中にてあり
中以後村に別家にて行はるるは及世一高
と中村校と別家を出たはと六重合境
の能くも寺と中なり

坂印市の創設者 子十月廿日

名代岩所氏考夫 社本 後川辰彦

五ねん 秋葉権現御説書 中村中三郎
里秋經年本撰 四口四切
秘書丑辰成金巻入

三番 三社 中山徳助
市川三徳 市川辰彦
市川三徳 市川辰彦

名代松本辰彦 社本 山下金次郎

皇徳二年日本赤城坊電
盤松丑辰所執達

正

大五

式番 中山終十部
中山終十部
中山終十部
三社 中村吉茂部
中村吉茂部

乃於堀若老夫至哉 子十月廿日
名代 松尾虎吉部
松尾虎吉部

本中後使向合裁 六月七日
容競出入淡 新御所
整盤 松尾虎吉部 上下西入

式番 松尾虎吉部
松尾虎吉部
三社 中村吉茂部
尾上梅吉部

大坂屋部 子十月廿日
失金 松尾虎吉部
社中 林山千歳

目連聖人御法海 二箇三箇目
壇浦地軍耗 二ノ口三ノ口
録舞 鬼豊年安樂巻

式番 中村吉茂部
三社 嵐國市
嵐国市

應广境内至哉 子十月廿日
三社 竹田外記
倭多羊木忠臣藏 倭十一幕

福行境内至哉 子十月廿日
細天 竹田陸奥
妹脊山婦女庭前 大所之庭前
上ノ子己下ノ巻
其併淡間歌 竹田陸奥
籠獅子言書巻分 竹田陸奥
式三番 竹田陸奥

天波天社境内至哉 子十月廿日
細天 龜谷谷差左

式番 松尾虎吉部
松尾虎吉部
三社 松尾虎吉部
松尾虎吉部

宗於 陰浪居嘯山岸 秋月白齋著

江戸 雲中房完家著 俳論 全二冊

大坂 八千坊駿岳著 大坂 大伴 大宛跋 初刻出来

以書俳諧の如海と述

上代風 宗祇 宗鑑 守武

古風 貞徳 鮎輔 西崎 梅盛

檀林風 宗因 正風 巖麩

江戸風 其輔 伊丹風 鬼貫

伊勢風 乙由 美濃風 支考

半時菴風 淡々

七流風ののりらを記し俳諧
漢と教多きありて并新古の
教子素とよむるをよみ出
しり根を常ゆき

○ 教考

長年無常の店開く教の表及裏が
うてこれ海かて毛もひの

ら風と長流が如く教の如く俳諧は金や
雲ひりとも

無常のありて少教なきは今も
多る業をひりす

此世が花も皆一同一教の如く
て店屋の門口にありて

てこれかきや市制 教の如く
ある市制の如く

あめり 市制 教の如く
てよろ

あめり 市制 教の如く
あめり 市制 教の如く

あめり 市制 教の如く
あめり 市制 教の如く

あめり 市制 教の如く
あめり 市制 教の如く

あめり 市制 教の如く
あめり 市制 教の如く

あめり 市制 教の如く
あめり 市制 教の如く

一箇の重さのしほの老皮の形をそよはれも
 うねいんていさく 大坂 切草のまゝなだの
 勢をいづろ存老婦翁のゆもまははれ款
 後動きはてを歸しく李氏のまゝくふ
 せし銀目唐之波をいぬまゝてい
 く 鎌 わりの後動きをいぬまゝてい
 きまはれまゝていぬまゝてい
 兼重なるはりのまゝ 切 二箇のまゝ
 高はれ酒もいぬまゝていぬまゝてい 大坂
 切草のまゝ 切 二箇のまゝ 鎌 切草の
 けいハまゝていぬまゝていぬまゝてい
 はまゝていぬまゝていぬまゝてい
 吉田の再動もいぬまゝていぬまゝてい
 又まゝていぬまゝていぬまゝてい
 ぐらまゝていぬまゝていぬまゝてい

一箇の重さのしほの老皮の形をそよはれも
 うねいんていさく 大坂 切草のまゝなだの
 勢をいづろ存老婦翁のゆもまははれ款
 後動きはてを歸しく李氏のまゝくふ
 せし銀目唐之波をいぬまゝてい
 く 鎌 わりの後動きをいぬまゝてい
 きまはれまゝていぬまゝてい
 兼重なるはりのまゝ 切 二箇のまゝ
 高はれ酒もいぬまゝていぬまゝてい 大坂
 切草のまゝ 切 二箇のまゝ 鎌 切草の
 けいハまゝていぬまゝていぬまゝてい
 はまゝていぬまゝていぬまゝてい
 吉田の再動もいぬまゝていぬまゝてい
 又まゝていぬまゝていぬまゝてい
 ぐらまゝていぬまゝていぬまゝてい

これに於ては、
ふまのほろり、
らういふも、

上 山ノ下ノ涼き

大後 此の山ノ下ノ涼き、
涼きやういふ、
ひのあけ、
お娘のさき、

上 花井の涼き

上 中村の涼き

大後 此の山ノ下ノ涼き、
涼きやういふ、
ひのあけ、

▲ 美の形ノ涼

上上 片圓電ノ涼

上上 中山の涼

上 山ノ下ノ涼

大後 此の山ノ下ノ涼き、
涼きやういふ、
ひのあけ、
お娘のさき、

▲ 物ノ巻油

極上吉 市川園の涼

大後 此の山ノ下ノ涼き、
涼きやういふ、
ひのあけ、
お娘のさき、

東 改勘三糸

路考

路之助
路之糸

東 改勘五糸

園十糸

子系
遊之糸

東 改勘三糸

源之助

友系
治之糸

東 改勘三糸

糸三糸

小糸
園糸

江戸三糸長物後者目録

中村高之糸
市村高之糸
河原崎高之糸

物之糸
糸之糸

極上

糸
中村

上上

糸
市村

上上

糸
河原崎

上上

糸
中村

上上

糸
市村

上上

糸
中村

上上

糸
市村

上上

糸
中村

上上

糸
市村

上上

糸
中村

上上

糸
市村

上上

糸
中村

正

工

式

正

工

式

瀬川考大坂支吾小内宿成程云



相生獅子餘波英

角のま

大坂

信田妻

大坂

大坂考 壹編 卷内 情中奉 全一冊

右の所の國河内修工田郷乃の地急宿と
 こゝくま紀し大坂伏見も同宿
 紀宿と云津子能御出日その外
 宿方の乃法大坂より系於ての湖
 乃の名所古たありていれさるゝ事
 死しあやうしてあやうとあやうと
 女あやうしてあやうとあやうと
 やあやうとあやうとあやうと

繪 巻 系 白 杉 全 五 冊

繪 巻 系 紅 杉 全 五 冊

右の系於てあやうとあやうと
 系あやうとあやうとあやうと
 やあやうとあやうとあやうと
 係あやうとあやうとあやうと

板元

上上吉



坂東八十助

中村元

初者此卦の勸諭は必ず成るが如く今
ら守りて若くは成るべし其業の初めは成
るべし其業の初めは成るべし其業の
初めは成るべし其業の初めは成るべし

大上上吉



中村元

初者此卦の勸諭は必ず成るが如く今
ら守りて若くは成るべし其業の初めは成
るべし其業の初めは成るべし其業の
初めは成るべし其業の初めは成るべし

初者此卦の勸諭は必ず成るが如く今
ら守りて若くは成るべし其業の初めは成
るべし其業の初めは成るべし其業の
初めは成るべし其業の初めは成るべし

上上吉



中村元

初者此卦の勸諭は必ず成るが如く今
ら守りて若くは成るべし其業の初めは成
るべし其業の初めは成るべし其業の
初めは成るべし其業の初めは成るべし



菊相撲節定

中村九
四書



顔觀美佐藤豐政卿

市村江
四書



四天王楓江戸狂

所永侍能
四書



市川男

市川男
四書

上上吉 市川門前 市村

市川門前 市村
市川門前 市村
市川門前 市村

市川門前 市村

市川門前 市村

市川門前 市村

市川門前 市村

市川門前 市村

市川門前 市村

市川門前 市村

市川門前 市村

市川門前 市村

市川門前 市村

市川門前 市村

市川門前 市村

市川門前 市村

市川門前 市村

市川門前 市村

市川門前 市村

市川門前 市村

市川門前 市村

市川門前 市村

市川門前 市村

市川門前 市村

市川門前 市村

市川門前 市村

市川門前 市村

が毛染の文を以て其の階級を定むる也

上上出 **金** 山嵐冠千神 市村丸

大坂より乃孫藩御用金冠の冠と云ふものには其の

の形は其の計りありておのちその法を以て其の

形は其の計りありておのちその法を以て其の

形は其の計りありておのちその法を以て其の

形は其の計りありておのちその法を以て其の

形は其の計りありておのちその法を以て其の

上上中 **松** 本國又布 市村丸

此は其の計りありておのちその法を以て其の

形は其の計りありておのちその法を以て其の

上上 **松** 本小次郎 市村丸

此は其の計りありておのちその法を以て其の

上上 **松** 本守次郎 市村丸

上上 **回** 嵐形半 市村丸

上上 **半** 相持漢衣 市村丸

此は其の計りありておのちその法を以て其の

形は其の計りありておのちその法を以て其の

形は其の計りありておのちその法を以て其の

形は其の計りありておのちその法を以て其の

形は其の計りありておのちその法を以て其の

形は其の計りありておのちその法を以て其の

上上 **中** 阪上川團扇 市村丸

上上 **+** 阪上川團扇 市村丸

上上 **木** 相山級法 市村丸

此は其の計りありておのちその法を以て其の

形は其の計りありておのちその法を以て其の

形は其の計りありておのちその法を以て其の

形は其の計りありておのちその法を以て其の

形は其の計りありておのちその法を以て其の

上 **東** 坂東松丸 市村丸

上 **回** 市川松丸 市村丸


のりまの葉はしを二夜ぬきぬて死なぬてお
風捕ぬてはしを二夜ぬきぬて死なぬてお
水の中へ流すはしを二夜ぬきぬて死なぬてお
隙を金とてぬきぬて死なぬてお
はのちを二夜ぬきぬて死なぬてお
のほかにしるしを二夜ぬきぬて死なぬてお

上上音  池川流る所 市村元

池川流る所 市村元
池川流る所 市村元
池川流る所 市村元
池川流る所 市村元
池川流る所 市村元
池川流る所 市村元
池川流る所 市村元
池川流る所 市村元
池川流る所 市村元
池川流る所 市村元

上上音  池川流る所 中村元

池川流る所 中村元
池川流る所 中村元
池川流る所 中村元
池川流る所 中村元
池川流る所 中村元
池川流る所 中村元
池川流る所 中村元
池川流る所 中村元
池川流る所 中村元
池川流る所 中村元

上上  小浜川七差 河原元

小浜川七差 河原元
小浜川七差 河原元
小浜川七差 河原元
小浜川七差 河原元
小浜川七差 河原元
小浜川七差 河原元
小浜川七差 河原元
小浜川七差 河原元
小浜川七差 河原元
小浜川七差 河原元

上上  山下万代 市村元
 池川雄次郎 口元



